

園長	主任	担任

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・気温の変化に留意し、一人一人の健康状態を把握して、冬を快適に過ごす。 ・保育者や友だちとかわりながらごっこ遊びやことばのやりとりを楽しむ。 ・冬の訪れを感じながら、寒さに負けずからだを動かして元気に遊ぶ。 ・簡単な身のまわりのことを自分でしようと、できた嬉しさによって自信をもつ。 ・保育者や友だちと歌ったり、リズム遊びや表現遊びをしたりして楽しむ。 	子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・靴の脱ぎ履きや帽子の着脱など一人でできることが増え、保育者に嬉しそうに見せに来る。 ・友だちと会話しながらごっこ遊びを楽しんだり、曲に合わせて踊ったりして、表現遊びを楽しんでいる。 ・公園へ散歩に行ったり、あぶくたっだやボール遊びをしたりと、体を動かして遊ぶことを楽しんでいる。 ・寒い日にも、戸外に出て好きな砂場やおもちゃを使って遊んでいる。 ・保育者の手伝いを喜んでしている子どももいる。 	行事	7日 冬のパーティー 19日 身体測定 26日 避難訓練
-----	--	-------	---	----	------------------------------------

	内容	環境構成	保育者の援助及び配慮
養護 ○生命・情緒	<ul style="list-style-type: none"> ・保健的で安全な環境をつくり、快適に生活できるようにする。 ・気温が低下し感染症も流行する時期なので、健康観察を丁寧にする。 ・からだの異変に早めに気づき、適切に対応し、健康で快適に過ごせるようにする。 ・一人一人の表現や行動を認めたり励ましたりしながら意欲を育てる。 ・子どもの気持ちを理解し受容することにより、自分の様々な思いを安心して表すことができるようにする。 ・異年齢児と散歩や遊びなど楽しみ、関わりを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の活動を把握し、安全に過ごせるようにする。 ・保育室内の換気や湿度をこまめにチェックし、室内外の温度差が大きにならないようにする。特に室内が乾燥しないように加湿器を用意し、使用する。 ・天気や気温の変化に応じて暖房の調整を行う。 ・一人一人と関われる時間を作る。 ・必要に応じて、子どもと落ち着いて話せる環境を作る。 ・十分に交流できる時間、場所を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の発育、発達状態、および日常に見られる心身の状態を把握し、体調の変化に素早く対応する。 ・手洗いを丁寧にできるようにしたり、室内の消毒や換気をしたり、感染症の予防のために保健衛生に留意したりする。 ・何かを成し遂げた後の達成感を、気持ちを受容しながら知らせていく。 ・トラブルの解決は互いの気持ちを大切に、子どもの言い分を聞き、気持ちを受け止め、保育者が代弁することで思いの橋渡しをしていく。 ・子どもの気持ちを汲み取り、うまく伝えられない部分も安心して伝えられるよう接する。 ・異年齢児との関わりを通し気付いたこと、感じたことを保育者や友だちと言葉で表現し、共感する。
教育 ○健康・人間関係・環境・言葉・表現	<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尿意や便意を感じたら保育者に知らせトイレへ行こうとする。 ・衣服を自分で着脱し、保育者と脱いだものを自分の袋に入れる。 ・できるだけ薄着で過ごすようにする。 ・給食・おやつ前はしっかりと手を洗い、食後はお茶を飲む。 ・友だちや保育者との食事を楽しむ。 <p>人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活や遊びのなかで「階段は手すりをつかむ」「散歩は必ず友だちと手をつなぎ歩く」など簡単な約束を知り、生活する。 ・異年齢児との関わり方を少しずつ知り、散歩や遊びを一緒に楽しむ。 ・ままごとや砂遊びなどを通して、2～3人の友だちと関わりをもちながらごっこ遊びを楽しむ。 <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風の冷たさや吐く息の白さ、霜、氷など冬の自然に親しみ、見たり触れたりして、感覚の動きを豊かにする。 ・戸外やホールで、様々な動きで体を十分に動かして遊ぶ。 <p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごっこ遊びをする中で、言葉のやりとりを楽しむ。 ・絵本や紙芝居を楽しみ、保育士や友だちとの会話を楽しむ。 <p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友だちと好きな曲に合わせて、からだを動かし「あわてんぼうのサンタクロース」、「さんぽ」などを歌って楽しむ。 ・保育者と一緒にはさみを使ったり、のりで貼ったり、クレヨンで描いたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレをいつでも使えるよう、環境を整えておく。 ・衣服など自分で着脱できるよう、十分なスペースを確保する。 ・寒い日も衣服の調節をし戸外でからだを動かし好きな遊びができる時間をつくる。 ・手洗いで使用する石鹸やペーパータオルは常に補充を行っており、水分補給もこまめに出来るようにしていく。 ・大人で階段を降りないようにしたり、散歩を安全に歩けるよう配慮したりする。 ・ごっこ遊びや見立て遊びに必要な遊具や用具を用意し、イメージをもちながらじっくり遊べるような環境を作っていく。 ・散歩先やコースの安全確認を行い、自然に親しめるような場所を選ぶ。 ・一人一人の活動や危険を予測しながら、安全に過ごせるようにする。 ・絵本は、好きなものや理解しやすいもの、イメージが膨らみやすく、繰り返し言葉が楽しめるものを選ぶ。 ・事前に楽器やCDを準備しておく。 ・描いたり作ったりできる素材(クレヨン、はさみ、のりなど)や濡らしたタオル、シートを用意する。 ・クリスマス制作で使うものを事前に用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄の間隔が短い子や厚着で排泄しにくい子には、早めにトイレに行くように誘う。 ・厚手の衣服になり着脱が自分でしにくいときは、子どものサインを見逃さないようにし、「ここ(袖口)持ってね」など具体的に声かけをし、手助けをする。 ・保育者と一緒に手洗い、うがいなど正しい姿を見せる。 ・食事をしながら、言葉を交わしたり食器に手を添えて食べる姿を見せる。 ・子ども達に約束を伝える際は、わかりやすい言葉で、優しく話をする。 ・思いがうまく言葉にならないときは、子どもの気持ちを汲み取り、保育士が仲立ちをしていく。子ども同士の間わり方を知らせ、自分の気持ちを相手に伝えたり、相手の気持ちに少しずつ気づいたりできるようにしていく。 ・霜柱や窓ガラスの曇り、日だまりの暖かさなどを見逃さないようにして子どもたちに伝え、不思議さに気付くようにする。 ・気の合う友だちと遊びが楽しめるよう場を設け、保育者と一緒に遊びを楽しみ仲立ちをするなかで、言葉のやりとりを楽しめるようにする。 ・保育者と一緒にリズム遊びを楽しむことで子どもと共感し、表現することの楽しさが味わえるようにする。 ・子どもたちの反応を見ながら、歌ったり踊ったりして楽しむことができるようにする。 ・はさみを使用する際は、少人数で行うようにし、持ち方も伝えながら進めていく。また、危険なものというのも伝えていく。
	家庭・地域との連携	職員間の連携	月の反省と自己評価

<ul style="list-style-type: none"> ・冬の感染症予防について、便りの配布、掲示板に園のようすを知らせるなど情報提供をする。 ・子どもの健康状態を密に伝え、連絡を取り合いながら早期発見・対応に努める。 ・気温の低下に合わせ、動きやすく、着脱しやすい衣服の準備をしてもらう。 ・感染症予防としての手洗い、うがいの励行をお願いする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の情報を把握し、クラス内の予防に努める。なお、インフルエンザなどが発生したら、子どもの体調の変化を見逃さず、職員全体で共有し対応する。 ・行事の目的やねらいを確認し合い、取り組んでいく。 ・自分でしようとする姿が多くなってきているので、一人一人に合わせた援助のしかたを確認し合っておく。 	
--	---	--